

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月15日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 目 守正 (TEL) 083-266-0210
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	47,376	11.4	698	98.5	913	93.1	749	124.8
2023年3月期	42,544	5.3	351	△51.7	473	△48.4	333	△52.9

(注) 包括利益 2024年3月期 1,399百万円(397.4%) 2023年3月期 281百万円(△52.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	85.90	—	7.1	3.3	1.5
2023年3月期	37.82	—	3.4	1.8	0.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 57百万円 2023年3月期 35百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	29,043	11,093	38.2	1,285.21
2023年3月期	26,755	9,932	37.1	1,125.80

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,093百万円 2023年3月期 9,932百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,579	△399	△1,241	2,501
2023年3月期	△310	△452	△615	562

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	—	—	15.00	15.00	132	39.7	1.3
2024年3月期	—	—	—	15.00	15.00	129	17.5	1.2
2025年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00		19.9	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	46,000	△2.9	700	0.2	900	△1.5	650	△13.2	75.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	8,910,000株	2023年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	278,585株	2023年3月期	87,810株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	8,721,339株	2023年3月期	8,810,591株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 14
(1株当たり情報)	P. 18
(重要な後発事象)	P. 18
4. その他	P. 19
(役員の異動)	P. 19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げにより、経済の正常化が進み、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは「中期経営計画<挑戦>Phase II 《challenge2024》」（2023年3月期～2024年3月期）を策定し、実行してまいりました。前中期経営計画に引き続き、変化を恐れぬ挑戦を継続し、経営資源の更なる選択と集中による構造改革を推し進めて収益力をより強固なものにするとともに、環境負荷の軽減（温室効果ガス排出量削減や地球温暖化対策）に努めるなど、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献することを目指してまいりました。

当連結会計年度の売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定などにより473億76百万円（前期比11.4%増加）となりました。損益面におきましては、価格改定による利益率の改善などにより、営業利益は6億98百万円（前期比98.5%増加）、経常利益は9億13百万円（前期比93.1%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億49百万円（前期比124.8%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

機能性素材におきましては、エラスチンの海外向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

加工食品におきましては、収益性を重視した取引に努め、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

肉類におきましては、主要取引先への販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は225億66百万円（前期比3.1%減少）となりました。損益面におきましては、価格改定や収益性を重視した製造および販売に努めたことなどにより、セグメント利益（営業利益）は8億2百万円（前期比66.6%増加）となりました。

②飼料事業

配合飼料におきましては、原材料価格高騰に対応した価格改定や養魚用飼料の販売数量増加により、増収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が増えたことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は247億67百万円（前期比29.0%増加）となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量増加および生産効率の改善により、セグメント利益（営業利益）は9億38百万円（前期比7.8%増加）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は290億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億88百万円増加しました。流動資産の増加（前期末比16億77百万円増加）は、主に原材料及び貯蔵品が6億60百万円減少したものの、現金及び預金が16億68百万円、売掛金が7億79百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加（前期末比6億10百万円増加）は、主に繰延税金資産が2億41百万円減少したものの、投資有価証券が9億47百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度末における負債合計は179億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億27百万円増加しました。流動負債の増加（前期末比14億41百万円増加）は、主に買掛金が14億27百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少（前期末比3億14百万円減少）は、主に長期借入金が1億15百万円、リース債務が1億81百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は110億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億61百万円増加しました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少が1億32百万円あったものの、その他有価証券評価差額金が6億57百万円増加したことや、親会社株主に帰属する当期純利益を7億49百万円計上したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローは減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ19億39百万円増加の25億1百万円（前期末比344.8%増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は35億79百万円（前期は3億10百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益10億39百万円、減価償却費7億34百万円を計上したことや、仕入債務の増加額が14億14百万円あったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は3億99百万円（前期は4億52百万円の減少）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が1億87百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が5億38百万円あったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は12億41百万円（前期は6億15百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の純減少額が5億20百万円、長期借入金の返済による支出が6億33百万円あったことなどによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	32.5	36.9	37.1	38.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	20.2	17.0	15.5	17.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.5	15.3	△33.4	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	25.7	5.4	△2.8	34.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢を背景とした原材料価格高騰やエネルギーコスト高騰に加え、円安水準も継続していることより、当社グループを取り巻く経営環境は厳しいものとなると予想されます。

こうしたなか、本年4月から、Hayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026 構造改革」(2025年3月期～2026年3月期)を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいります。

次期連結会計年度の見通しにつきましては、売上高は460億円(前期比2.9%減少)、営業利益は7億円(前期比0.2%増加)、経常利益は9億円(前期比1.5%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億500万円(前期比13.2%減少)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、今後のIFRS(国際財務報告基準)については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	843,518	2,511,785
受取手形	86,950	140,084
売掛金	5,110,312	5,889,915
商品及び製品	2,021,993	2,203,073
仕掛品	2,589,352	2,320,468
原材料及び貯蔵品	2,445,208	1,784,210
その他	892,189	817,740
貸倒引当金	△946	△1,216
流動資産合計	13,988,578	15,666,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,730,643	12,917,253
減価償却累計額	△9,996,489	△10,158,201
建物及び構築物（純額）	2,734,153	2,759,051
機械装置及び運搬具	7,289,940	7,449,499
減価償却累計額	△6,531,894	△6,635,855
機械装置及び運搬具（純額）	758,045	813,643
土地	3,037,357	3,002,130
リース資産	3,161,128	3,001,510
減価償却累計額	△1,480,646	△1,477,137
リース資産（純額）	1,680,482	1,524,373
建設仮勘定	34,163	—
その他	697,091	737,069
減価償却累計額	△608,000	△618,954
その他（純額）	89,090	118,114
有形固定資産合計	8,333,293	8,217,314
無形固定資産	77,723	102,081
投資その他の資産		
投資有価証券	3,544,591	4,491,740
破産更生債権等	1,197,404	1,219,194
繰延税金資産	395,335	153,378
その他	124,705	126,618
貸倒引当金	△906,036	△932,571
投資その他の資産合計	4,356,000	5,058,360
固定資産合計	12,767,017	13,377,756
資産合計	26,755,596	29,043,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,773,254	4,200,860
短期借入金	6,724,735	5,914,636
リース債務	346,002	360,878
未払法人税等	101,345	298,211
契約負債	108,164	63,785
賞与引当金	235,599	177,323
その他	1,148,168	1,862,836
流動負債合計	11,437,270	12,878,533
固定負債		
長期借入金	1,704,856	1,589,220
リース債務	1,592,754	1,410,921
退職給付に係る負債	1,911,288	1,888,942
その他	177,421	182,991
固定負債合計	5,386,321	5,072,075
負債合計	16,823,591	17,950,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	2,981	2,981
利益剰余金	5,714,539	6,327,074
自己株式	△58,498	△159,919
株主資本合計	9,074,042	9,585,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842,279	1,499,532
繰延ヘッジ損益	△321	△549
退職給付に係る調整累計額	16,003	9,067
その他の包括利益累計額合計	857,961	1,508,051
純資産合計	9,932,004	11,093,208
負債純資産合計	26,755,596	29,043,817

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	42,544,558	47,376,157
売上原価	37,801,992	42,176,594
売上総利益	4,742,565	5,199,562
販売費及び一般管理費	4,390,766	4,501,175
営業利益	351,799	698,387
営業外収益		
受取配当金	83,090	118,841
設備賃貸料	39,372	39,492
持分法による投資利益	35,726	57,381
その他	110,831	130,950
営業外収益合計	269,020	346,664
営業外費用		
支払利息	113,010	93,757
その他	34,624	37,576
営業外費用合計	147,635	131,334
経常利益	473,184	913,718
特別利益		
投資有価証券売却益	926	136,834
関係会社株式売却益	14,349	—
受取保険金	45,727	—
国庫補助金	13,426	114,114
その他	917	1,674
特別利益合計	75,346	252,623
特別損失		
固定資産除却損	25,341	5,009
減損損失	—	37,024
固定資産圧縮損	13,426	85,008
災害による損失	55,818	—
その他	33	—
特別損失合計	94,620	127,042
税金等調整前当期純利益	453,911	1,039,299
法人税、住民税及び事業税	119,065	327,400
法人税等調整額	1,652	△37,275
法人税等合計	120,718	290,125
当期純利益	333,192	749,174
親会社株主に帰属する当期純利益	333,192	749,174

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	333,192	749,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,625	644,650
繰延ヘッジ損益	△8,092	△228
退職給付に係る調整額	△9,744	△6,935
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,422	12,603
その他の包括利益合計	△51,885	650,089
包括利益	281,307	1,399,263
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	281,307	1,399,263

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,415,020	6,617	5,515,080	△78,377	8,858,339
当期変動額					
剰余金の配当			△131,892		△131,892
親会社株主に帰属する当期純利益			333,192		333,192
自己株式の取得				△9	△9
持分法の適用範囲の変動				300	300
自己株式の処分		△5,475		19,587	14,112
自己株式処分差損の振替		1,840	△1,840		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△3,635	199,459	19,878	215,703
当期末残高	3,415,020	2,981	5,714,539	△58,498	9,074,042

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	876,327	7,771	25,747	909,846	9,768,186
当期変動額					
剰余金の配当					△131,892
親会社株主に帰属する当期純利益					333,192
自己株式の取得					△9
持分法の適用範囲の変動					300
自己株式の処分					14,112
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△34,047	△8,092	△9,744	△51,885	△51,885
当期変動額合計	△34,047	△8,092	△9,744	△51,885	163,818
当期末残高	842,279	△321	16,003	857,961	9,932,004

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,415,020	2,981	5,714,539	△58,498	9,074,042
当期変動額					
剰余金の配当			△132,332		△132,332
親会社株主に帰属する当期純利益			749,174		749,174
自己株式の取得				△117,806	△117,806
自己株式の処分		△4,307		16,385	12,078
自己株式処分差損の振替		4,307	△4,307		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	612,534	△101,420	511,114
当期末残高	3,415,020	2,981	6,327,074	△159,919	9,585,157

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	842,279	△321	16,003	857,961	9,932,004
当期変動額					
剰余金の配当					△132,332
親会社株主に帰属する当期純利益					749,174
自己株式の取得					△117,806
自己株式の処分					12,078
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	657,253	△228	△6,935	650,089	650,089
当期変動額合計	657,253	△228	△6,935	650,089	1,161,203
当期末残高	1,499,532	△549	9,067	1,508,051	11,093,208

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	453,911	1,039,299
減価償却費	735,527	734,559
持分法による投資損益 (△は益)	△35,726	△57,381
固定資産売却損益 (△は益)	△883	△1,674
固定資産除却損	25,341	5,009
減損損失	—	37,024
株式報酬費用	14,759	12,586
投資有価証券売却損益 (△は益)	△926	△136,834
関係会社株式売却損益 (△は益)	△14,349	—
補助金収入	△13,426	△114,114
固定資産圧縮損	13,426	85,008
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△114,300	26,804
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,990	△58,275
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,743	△32,319
受取利息及び受取配当金	△83,421	△118,926
受取保険金	△45,727	—
支払利息	113,010	93,757
為替差損益 (△は益)	1,370	△585
災害損失	55,818	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△905,127	△887,638
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△723,314	748,803
仕入債務の増減額 (△は減少)	438,142	1,414,174
未払金の増減額 (△は減少)	△194,349	711,278
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△16,469	△10,952
未収入金の増減額 (△は増加)	△76,133	86,901
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,542	△1,386
その他	41,406	43,445
小計	△345,230	3,618,564
利息及び配当金の受取額	86,611	122,116
補助金の受取額	13,426	114,114
保険金の受取額	45,727	—
利息の支払額	△113,053	△103,050
災害損失の支払額	△21,215	△39,154
法人税等の支払額	22,863	△132,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	△310,871	3,579,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△337,217	△538,900
有形固定資産の売却による収入	2,398	8,039
無形固定資産の取得による支出	△46,751	△53,913
投資有価証券の取得による支出	△5,308	△3,907
投資有価証券の売却による収入	62,996	187,407
資産除去債務の履行による支出	△116,490	—
その他	△11,651	2,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452,024	△399,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	△520,000
長期借入れによる収入	499,000	499,000
長期借入金の返済による支出	△669,174	△633,622
リース債務の返済による支出	△344,337	△337,965
配当金の支払額	△131,158	△131,582
自己株式の取得による支出	△9	△117,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615,679	△1,241,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,370	585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,379,945	1,939,380
現金及び現金同等物の期首残高	1,942,350	562,404
現金及び現金同等物の期末残高	562,404	2,501,785

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

6社

連結子会社の名称

キシマドリームファーム株式会社

林兼フーズ株式会社

都城ウエルネスミート株式会社

有限会社平安海産

有限会社桜林養鰻

太幸物産株式会社

2 持分法の適用に関する事項

持分法を適用した関連会社数

2社

会社等の名称

林兼冷蔵株式会社、志布志飼料株式会社

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主に当社の各事業部が取り扱う商品及び製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、当社の事業部を基礎とした商品及び製品別セグメントから構成されており、「食品事業」及び「飼料事業」の2つを報告セグメントとしております。

「食品事業」は機能性素材、加工食品、肉類等の製造・仕入販売を行っております。「飼料事業」は配合飼料、水産物等の製造・仕入販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,295,971	19,206,329	42,502,300	42,258	42,544,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	2,095,068	2,095,069	—	2,095,069
計	23,295,972	21,301,397	44,597,369	42,258	44,639,627
セグメント利益	481,933	870,190	1,352,123	32,757	1,384,881
セグメント資産	10,818,652	9,323,172	20,141,824	1,494,839	21,636,664
その他の項目					
減価償却費	493,718	215,948	709,666	1,011	710,678
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	142,811	162,572	305,384	—	305,384

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,566,574	24,767,325	47,333,899	42,258	47,376,157
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,081,132	2,081,132	—	2,081,132
計	22,566,574	26,848,458	49,415,032	42,258	49,457,290
セグメント利益	802,793	938,045	1,740,838	32,757	1,773,596
セグメント資産	10,984,729	9,291,548	20,276,277	1,459,561	21,735,839
その他の項目					
減価償却費	477,524	216,784	694,309	1,011	695,320
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	249,129	368,244	617,374	—	617,374

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	44,597,369	49,415,032
「その他」の区分の売上高	42,258	42,258
セグメント間取引消去	△2,095,069	△2,081,132
連結財務諸表の売上高	42,544,558	47,376,157

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,352,123	1,740,838
「その他」の区分の利益	32,757	32,757
セグメント間取引消去	△5,812	△61,092
全社費用(注)	△1,027,269	△1,014,116
連結財務諸表の営業利益	351,799	698,387

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,141,824	20,276,277
「その他」の区分の資産	1,494,839	1,459,561
全社資産(注)	5,118,931	7,307,978
連結財務諸表の資産合計	26,755,596	29,043,817

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない林兼産業株式会社本社の土地及び建物です。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	709,666	694,309	1,011	1,011	24,848	39,238	735,527	734,559
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	305,384	617,374	—	—	93,321	73,962	398,705	691,337

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に林兼産業株式会社のソフトウェアに係る投資額です。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
マルハニチロ株式会社	5,778,332	食品事業、飼料事業

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
マルハニチロ株式会社	5,910,630	食品事業、飼料事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	食品事業	飼料事業	計			
減損損失	—	—	—	37,024	—	37,024

(注) その他の金額は報告セグメントに含まれない不動産事業の有形固定資産に係る減損損失です。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,125円80銭	1,285円21銭
1株当たり当期純利益	37円82銭	85円90銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	333,192	749,174
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	333,192	749,174
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,810	8,721

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動 (2024年6月25日付予定) ※2024年4月24日開示済み

① 新任取締役候補

取締役	経営管理本部長 兼経理部長	戸倉 信一 (とくら しんいち) (現 経営管理本部長)
取締役	(社外・独立)	田中 姿子 (たなか しなこ) (公益財団法人日本バレーボール協会)

② 退任予定取締役

	高田 啓吾 (たかた けいご) (現 取締役 飼料事業部長)
	Peter John Taylor (ピーター ジョン テイラー) (現 取締役 非常勤)

③ 取締役の管掌変更

専務取締役	事業統括本部長 兼飼料事業部長	三代 健造 (みしろ けんぞう) (現 専務取締役 経営管理本部長)
取締役	事業統括本部 食品事業部長 兼機能食品部長	平野 斉 (ひらの ひとし) (現 取締役 食品事業部長兼機能食品部長)
取締役	事業統括本部 食品事業部副事業部長	安部 克彦 (あべ かつひこ) (現 取締役 非常勤)
取締役	経営管理本部副本部長	鈴木 修士 (すずた しゅうじ) (現 取締役 非常勤)

以上